

市独自の英語教育

寝屋川市は独自で各小学校に「国際コミュニケーション科」を設置し、小学校1年生から英語教育を行っている。

取り組みの一環である

「英語村」は、平成26年度から小中学生を対象に開いていたが、平成29年度からは就学前5歳児に対象を広げて実施してい

る。今年度からは、市内幼稚園・保育所園・認定こども園での外国人英語講師による訪問授業へと発展した。英語の歌やダンスなどで外国人講師のネイティブな発音(本来の発音)を耳にしながら就学前の子どもたちは、英語を自然に体得する。「おもしろかった」と評だ。

このようない組みの結果、国の「英語教育実施状況調査」において、子どもたちには大好評だ。

このようない組みの結果、国の「英語教育実施状況調査」において、英検3級程度の英語力をを持つ、中学3年生の割合は69・3%(寝屋川市立中学校)、全国平均の42・6%と比較しても、大きく上回っており、成果が表れている。



0月30日、カメルーン人のClovis講師(32)と
どもたちが楽しく交流

かつた
「英語の先生にまた来てほしい」と、子どもたちには大好評だ。

このようない組みの結果、国の「英語教育実施状況調査」において、英検3級程度の英語力をを持つ、中学3年生の割合は69・3%(寝屋川市立中学校)、全国平均の42・6%と比較しても、大きく上回っており、成果が表れている。